夕刊
新京日日新聞
定價 一ヶ月 金八十五錢 三ヶ月 金二圓五十錢
郵稅 一ヶ月 一錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 三〇〇番 三二二五番
發行人 十河忠男
編輯人 松本恭
印刷人 谷啓二郎

滿洲國經濟建設綱要（四）

第六、鑛工業の振興

一、方針

鑛産資源を開發し基礎工業及國防工業の確立を圖り國民經濟を豐富ならしめ富國を增大せしむるを以て方針さす

二、鑛業

（イ）石炭は諸炭鑛を統一し合理的生産さ供給さを行ひ以て低廉豐富なる燃料を提供するさ共に輸出の增進を圖る

（ロ）國防鑛産資源は原則さして特殊會社をして其の鑛業權を確保せしめ以て無統制濫掘を警むるさ共に其の開發に便す

（ハ）砂金及金鑛は國有のものさ然らざるものさは區分し國有以外のものは之を一般に開放す

三、工業

（イ）左記工業は國內需要に伴ひ所要の統制の下に逐次發達せしむ

金屬工業
機械工業
油脂工業
パルプ工業
曹達工業
酒精工業
柞蠶工業
紡績工業
製粉工業
セメント工業
釀造工業

（ロ）前記以外のものは差當り自然の發達に委するも將來必要に應し所要の統制を加ふるこさあるへし

（ハ）電氣事業は統一經營を行ひ豐富低廉なる電力を供給す

三、施設

（イ）工業の健全なる發達を促進し施設集中の利益を圖るため左記の地方に工業地域を設定す

奉天
安東
ハルビン
吉林附近

（ロ）工業品の規格を統一す

第七、金融の整備

舊軍閥の秕政中其害毒大なりしは紙幣の濫發、片紙の流行なりしに鑑み政府は建國當初の既定方針に基き國幣の流通さ其價値の維持に努め以て金融の基礎を鞏固ならしむるさ共に一般的に信用制度を改善し流通經濟の暢達を圖る

1、滿洲中央銀行は速かに附業を整理し通貨の調節安定を計り專ら金融の統制に任す

2、産業組合、金融組合等各種庶民金融機關並一般金融機關の整備を計り之に對し適當なる助成並に取締の方法を講す

3、農工業の發達に資する爲め特殊金融機關を設立し割增金付債券の發行を特許する等の方法により長期低利資金の供給を行はんさす

4、彩票の發行は政府自ら之を行ふの外之を許可せす、割增金付債券の發行は前號に掲げたるものゝ外之を許可せす

5、一般國民に對し貯蓄心を涵養せしむる爲め郵便貯金制度を改善し其發達を計る

熱河に就て（五）

五、熱河の軍情

一　正規軍の軍情

正規軍さして步兵四個旅、騎兵二個旅其他獨立騎砲工輜重がある、其內崔興武の率ゆる騎兵第九旅が最も優秀であるが、崔は近來湯の命に服せず、隷下部隊の擴張を企圖して居るさの流言がある

正規軍の大部以上は阿片中毒に罹つて居るが、給料の不渡七箇月に及んで居るので生命さする阿片を得るの途なく、民財を掠奪し以て一時を凌いで居る、之が爲め民衆は財を失ひ群をなして避難するの狀況である、一方當務自體も亦然乃有罪惡を犯しつゝある

二　自衛團の改

湯玉麟は軍隊に對する給料の不拂さ素質の不良に鑑み從來の保甲制度を改め、陸軍訓練所を新設し全省を九練區に分ち、戰時一區より二萬人宛計十八萬の武裝集團の召集を企圖し、目下其訓練に力めて居る

三　義勇軍の狀況

熱河及遼西方面に於ける義勇軍は、湯占海の率ゆる一萬餘を主さし、其總數約三萬七千あり二十一地方に駐屯して居るが、其系統たるや區々、素質亦不良であつて離合集散を反覆して居る

四　義勇軍自衛團に給する給與

之等義勇軍に對する資源の供給は、北平所在救國民衆後援會に對する各華僑及諸團體の寄附に依る、救國義捐金月額五百萬元を以て充當して居る。

尙熱河には同會の分會あり主さして情報の蒐集に努めて居る。

昨年十月下旬北平より駱駝六百頭及貨物自動車十餘輛を以て軍服六萬着及各種の軍需品を輸送し義勇軍に之を配給せる事實がある、又十一月中旬以來は六輪車輛の重量貨物自動車四十輛を以て專ら軍需品の輸送をなさしめつゝある、尙湯玉麟は同月重量貨物自動車二十輛を購入、第三十六師交通隊長劉九成をして專ら各軍へ軍需品の輸送をなさしめた。

以上は熱河に於ける大体の軍情であるが、最近は三中全會の決議に基き、學良は盛に北支の軍隊を該方面に增加しつゝある狀況である。

六、三中全會

昨年（昭和七年）末より今年一月初頭にかけ、熱河方面の風雲たゞならぬものあるを思はしむるは、本稿冒頭に於て述べし如く支那側の奸策に因るものであつて、學良が此の策に出でたのは昨年彼の漢口に至りし際蔣介石さの間に十分なる諒解を遂げ、其後河北將領會議に於て確定したるもので、彼さしては既定の如く實現したるに他ならないが、特に年末より年始に亘り軍隊の行動積極的さなり、挑戰的行動を敢てするに至れるを要因さして年末南京に於て開催せられたる、第四期三中全會を度外視するこさは不可能である

第四期三中全會（第三次中央執監委員全体會議）は十二月十五日より同二十二日に亘つて開催せられた。

本會議は國際聯盟の恃むべからざるを知り、其傳統手段たる以夷制夷の失敗に基く現下の窮態を脫逸せんが爲、蔣介石、汪精衛、孫科の合同を策したるものである。從て會議前種々噂せられたる蔣の獨裁蔣汪關係の清算の如きは何等問題さならず、ただ孫科の抱込みを策し、之により三派合作し國家統一の外形を繕はんこさを主義さして指導せられた從つて對日强硬論者たる孫科一派の獨擅場たる感があつた

駐日支那公使歸國に決定す
蔣公使再三懇請

【東京三日發國通】駐日支那公使蔣作賓氏は賜暇歸朝して一兩日中に歸國する事に決定した、留守中の代理は江華本氏さなる筈

【東京三日發國通】駐日支那公使は再三歸國を懇請してゐるが、南京政府では許可するに當り時局柄威嚇的に召還したさ宣傳したさ觀られて居る

ポパ兩交戰國に武器禁輸決定

【ジユネーヴ二日發國通】聯盟理事會は本日の秘密會議で目下交戰中の南米ボリヴイア、パラクワイ兩軍に武器供給を禁止する原則を可決した右決定は來週の理事會再開に關係主要國及米國へ通知して其の同意を求むる筈である

米國銀行の大動搖

【ニユーヨーク二日發國通】米國銀行界の動搖は益々擴大今や聯邦四十八州中二十二州に預金引出し制限を行ふに至つた、その結果證券及び商品取引で休業の已むなきに至つた重なるものはニユーオルリアンス棉花取引所、サンフランシスコ、ロスアンゼルス、クリーブランド、デトロイトの各株式取引所等此の外若干の都市に於ける物産取引所も休業してゐる

國道會議官制
三日附發令公布さる

豫て參議府に諮詢であつた左記敎令並に軍令は三月三日附を以て發令公布された

一、軍令第一號　洮遼警備司令官及び各省警備司令官の擔任區域並に其の指揮に屬する軍隊を定むるの件中改正の件

一、敎令第十二號　國道局官制

一、敎令第十三號　國道會議官制

政府は治安確保産業發達の見地より國內道路建設の急務なるに鑑み、今回道局官制國道會議官制を制定し三日付發布したが國道局は專ら道路建設並に治水の計畫を管掌するもので、ありて從つて國道局は恒久的性質を有するものではないが、最も重大なる使命を以てこの大事業に當る機關であり一方に國道會議を設け、關係部局代表者をあつめ主要計畫を審議せしめ、以てその圓滿遂行に資せんさするものである

一、敎令第十四號　ハルビン警察廳官制、ハルビンは吉黑兩省並に東省特別區の各系統の行政機關並立して居るため、國際的にも又國內的にも大ハルビンの行政機關さして不適當の點少なからず、茲にハルビン市政籌備處官制を設定して一般市行政方面の統一を圖る事さなりたるが、今回更に警務行政方面にも之が統一を圖る事さなり研究中の處愈々關係各機關の協調纏まりたるを以て、右官制の發布を見たものである

一、敎令第十五號　警長警士給與品及び貸與品規定中修正の件

二、敎令第十六號　警察官服制の件中修正の件

米聯邦準備銀行
再割引利率引上げ

【ワシントン二日發國通】ニユーヨーク聯邦準備銀行は本日再割引利率を三分に引上げた、右は思惑の增加を防止せんさの目的に出でたものである

田川氏召喚
滿洲問題の筆禍

【東京三日發國通】田川大吉郎氏は午后一時東京憲兵隊に召喚され隊長及特高課長に時余に亘り取調べられた後放還された

右は田川氏が廿六日頃京都で滿洲國を放棄すべしさの講演をしたこさ、先頃南京政府さ聯盟に反日電報が飛んだ事に關聯し、疑惑さ觀られ

怪人凱歌（百六十三）
（舞臺上演映畫化）須藤鐘一（畫）瀧秋方

朝報（二）

『まア、信雄さんも、そんな事をして居らつしやるんですか。まだお身體がすつかりよくないでせうに。……』

と、眞佐子は眉をひそめたのである。

『え、わたし止めましたけれどそんな準備つちやゐられないといつて出て行きましたの』

と、千鶴子が御なげに答へる。

『困るわね。困らなきやいゝですが……』

二人の立ち話しをしてゐるところへ、女中が上つて來て、

『お手紙がまゐりました』と云つて、遠達の印を押した封書を差し出した。

『わたしに？』

千鶴子が何氣なく受取つて、差出し人を見ると、それは兄の信雄なので、急に慌てゝ、

『兄さんからなのよ』

と、云ひながら封を切つて讀み下した。

『いゝ口が見つからぬ。しかし、もう當分、僕は歸らぬ。居どころがきまつたら、眞佐子さんまでお知らせする。千鶴ちやんも、眞佐子さんに相談して、金山の家からは一日も早く出た方がいゝよ。……』

こんな風に書いてあつた。

『でも、兄さんは、云ひ出したら誰れが何といつても、人の云ふ事はきかないですからね』

と、云つて、千鶴子はほつと溜息をついた。

『折角、あの不良少年から少し遠ざかつて居らしたのに、又あの連中とお交じはりになるのぢやないかしら。……』

と、眞佐子は、それが何よりも心がかりだつた。

『兄さんは、ほんとに意志が弱いんですからね。うちでは强情張りの癖に、外へ出ると、つい友達に惹きこまれてしまふんですの』

『ちやア、信雄さんには、どうしてもあなたか、わたしが始終ついてゐて、惡いお友達に近づけないやうにしなくちや駄目ですわ』

『え、さうなんです』と、いつたが、千鶴子は、さし當りどうしていゝのか、自分の取るべき所置に就て見當がつかなかつた。

『眞佐子さんは、ほんとに元氣』

やはりあなたはお姉樣だわ』と云つて、千鶴子はかすかに笑つた。

そのうち時がたつて、眞佐子は美容院へ出なければならぬ時刻になつた。

『それぢや、兎に角、わたしが先生にお願ひして見るわ。明日まゐりまして又御相談いたしませう』

と、約束して眞佐子は歸つて行つた。

ヴイナス美容院では、客が立てこんでゐて、容易に先生に其の事を話す機會がなかつた。

午後五時過ぎになつて、やつと客は一先づ片づいた。そこで、眞佐子が院長の信子の部屋に行くと信子は、彼女の顏を見るなり、

『あゝ眞佐子さん、ちやうどいゝ所、一寸お話があるのよ』

と云つて別室へ連れ込んだ。

『先生、何ですの？』

『外でもないですがね、此間から變な男が頻りにあなたを付け狙つてくるやうですよ。――わたし、それが、いつかの櫻木町の天野といふ者ぢやないかと思ふのよ』

『へえ、さうですか？』と、眞佐子は呆れた顏をする。

『うつかりしてると、あなたが又攫つて行かれやしないかと、わたしそれが第一、心配なの』

と、信子は飽まで眞剣である。

『あなた、そんな氣の弱い事でどうするのよ。わたしだつて同じことよ。始終、いぢめられ通しですもの。でも、そんな事でビクビクしてゐちや、此の世の中に生きて行かれやしないことよ。こんなことをわたしがいふと、大そう生意氣なやうですけれど、一つでも二つでも年が上ですから、姉になつたつもりで、遠慮しないことよ。御就なさい。――わたしなんか、先方が打ちこんで來た太刀を、受けとめておいて、逆に此方から一本相手の急所へ見舞はなくちや承知しないつもりよ』

と、眞佐子は頼れな友を勵ますやうに、聲と言葉に力をこめて云つた。

『眞佐子さん、わたし何だか、世の中が恐ろしくなつちやつた』

へと訴へるやうにいふ。見ると、眼にはかすかに淚をさへたゝへてゐるのだ。

承德、熱河の攻略 目睫の間にせまる

熱河侵略支那軍全潰の日近し

皇軍の意氣を見よや

【錦州三日發國通】平泉も落ち、皇軍の徹底的勝利ももう一息だ、皇軍最後の一戰承德攻略の時は本明日に迫つた、追擊の快速トラック隊の疾風迅雷的怪力と皇軍の意氣とを以てすれば平泉、承德間六十キロは將に指呼の間にありといふ可く一日弱の行程だ、皇軍の鋭鋒に一たまりもなく戰意を失ひ堅陣を棄てて敗走又敗走、浮足立つた潰亂狀態の敵が連戰連勝の皇軍の前に何の程度まで最後の抵抗を試みるか、凌源、承德街道を東から驀進する服部及び〇〇の兩部隊の主力と赤峰承德街道の敵を鐵蹄にかけつつ一路南進する茂木及び〇〇〇の兩部隊の主力とが東と北からの重壓に承德陷落は最早時間の問題と觀測され熱河侵略支那軍全潰の日は刻々に近付きつつある

建平、平泉陷落の筈なるも 聯絡取れず詳細不明

【錦州三日發國通】建平及び平泉兩地區は我軍の疾風迅雷的急行軍により本日既に陷落せるものの如くなるも平泉との聯絡完全にとれず、而も今朝來の吹雪にて〇〇地の偵察不可能にて詳細判明せず、軍當局にては極力前線との聯絡に努めつつあり、本日中に詳報來るものと思はれる

平泉の攻略近づく

【錦州三日發國通】凌源を占領せる服部部隊の米山先遣快速隊及び川原部隊の落合挺進快速隊は算を亂して凌源、承德街道を潰走中の敵を西に壓迫しつつ急追中にて敵はおそらく平泉前方の堅固なる既設陣地に據る能はざるべく、本日正午頃迄には平泉は我軍の手中に陷るであらう

承德の手前三里 東杖子を通過す 附近敵影一を見ず

【關東軍司令部發表】河原挺進隊は疾風の如き勢を以て前進を續け四日午前八時二十分東杖子(承德東方約三里)通過中にして其附近に敵影を見ず
松田部隊は三日午後九時建平に進入し、又二日赤峰に入城したる茂木部隊は既に集結を終り四日朝灤河に向ひ前進を起せり

湯承德を固む 中央からの支給兵器で

【錦州三日發國通】承德に在つて最後の對日作戰を運らして居る湯玉麟は、最近南京政府より山砲二門、高射砲六門、高射機關銃十門の支給を受けたるも、前線に送らず、承德に配置して自己の安全を圖り居るため承德は相當堅固に防備され居るものの如し

敵の死体は千數百に上る

【赤峰三日發國通】赤峰の敵に參加した敵部隊は去月廿六日同地に進出せる孫殿英軍の三ケ旅と、湯玉麟部千二三百餘りで、彼等は精鋭なる迫擊砲、機關銃等を所持し、相當有力なもので、一時は歸順を傳へられた石文華は又に我軍の急追を蒙れて廿八日遠く林西に逃走後であつた、尚右戰鬪に於ける敵の損害は莫大なる數にのぼる見込なるも、今迄に判明せる分は死体千數百に上り、中にも悲慘を極めたるは一個所の塹壕内に二百六十餘の死体が折重つてゐたことで、我軍の威力を如實に物語つて居た

早川部隊の負傷者

【錦州三日發國通】二月二十四日四家子附近の戰鬪に於ける我軍負傷者左の如し

△早川部隊　前澤大尉
上等兵　永田初太郎
一等兵　淵粂吉
同　萩原萬吉
同　佐藤德松
同　小舟清
同二等兵　吉田梅松
同　佐々木常吉

右負傷者の程度はなほ不明なるも前澤大尉は傷を包んで尚戰線に活動を續けつつある

田中部隊の負傷者

【錦州三日發國通】二月二十四日石門附近に於ける田中部隊の負傷兵は左の如し

上等兵　小野賢治
一等兵　長良軍吉
同　太田正吾
同　山口正二
同　齋藤春治

〇〇隊長 凌源入城

【凌源三日發國通】〇〇部隊長以下幕僚は本日午前十時半折柄の吹雪を衝いて市民の熱誠溢るる歡迎を受けながら堂々凌源に入城した

松田枝隊大營子へ

【錦州二日發國通】松田枝隊は二日朝老虎山東方の峻嶮なる山彩を扼し頑強に抵抗せる敵匪五、六百を擊退し大營子附近に前進した、敵の遺棄死體五十、小銃、車馬多數を捕獲した

不破少尉名譽の戰死 敵彈命中落馬せるも 尚ほ看護を肯んせず

【赤峰三日發國通】二日拂曉赤峰東側地區に於て行はれた敵陣地攻略戰に於て茂木部隊不破少尉は、譽の戰死を遂げた

×—×

【赤峰三日發國通】赤峰附近の戰鬪に於て名譽の戰死を遂げたる不破少尉は此の日敵陣地の後方に狂廻し敵軍の退路遮斷に任じた坂本小隊長と共に自ら軍刀を振つて先頭に立ち彈丸の雨をものともせず、部下を指揮し敵散兵壕を乘越へ、乘馬にて敵線を突破し前進しつつあつた際、不幸にも敵彈命中、とつさばかりに落馬した、これを見た分隊長は直ちに馬から飛び降り紅に染つた少尉を「しつかりして下さい」と抱き起さんとしたが豪氣な少尉はカツと目を見開き「傷は淺い、心配するな俺にかまわず進め、あとの指揮をしつかり頼んだ」と分隊長を退け激勵前進續行を命じた分隊長は少尉の態度嚴然たるに輕傷と思ひ、前進を續けたが、少尉は遂に起たず、雪の沙漠に紅に染つて名譽の戰死を遂げたもので、その行爲眞に豪勇、意氣勇敢にして兵隊の模範として讃へらる

熱河解決を機に 蔣、平津へ進出か

學良の地位必ずや動搖せん

天津よりの情報によれば支那側は强力なる正規軍を後方に控へ、地方軍並に偏勇軍を前線に

「配置」

して居ると觀して居るが、各軍共に殆ど戰意なく、是等の事情を察知した熱河地方民は滿洲國旗たる五色旗を用意し平津方面に於ける支那紙のうちに於ても支那軍の内情より見て熱河問題が容易に解決せらるるであらうと見て居るものがある而して、內地一帶では既に熱河の解決と共に學良の地位に根本から大動搖を來す可く、之に代るものとして蔣介石の勢力が進出して來るものと見てゐる

蔣自身は學良と相提携合作し抗日を煽つて居たが、之は一に彼れの對內策であつて、熱河の形勢非となるに及んで次第に兩者の間は阻隔され、今度の抗日戰にも蔣は一旦途中まで輸送した自己の軍隊を共匪の猖獗を名として引返へした程で、その

「眞意」

は學良政權を平津地方に置きこの上日本と抗爭するを欲せず、この機會に學良を追つて自己の腹心を平津に入れんとして居る模樣である

保定以南へ退くか

天津よりの來電によれば平津方面に於ける反張空氣は熱河問題を中心として、學良が北支に在る限り北支は常に亂れ從つて絕えず東北方より脅威を受けるとて著しく惡化し反張輿論も高まつて來たので、學良も之を切つかけとして、轉身の途を講じつつあり、表面蔣と提携して居る樣に見せかけ乍ら、一應平津地方より保定、或はその以南へ身を退き、その上で後圖を策せんとする模樣である

平泉、承德一帶 尺餘の積雪に蔽はる

【錦州三日發國通】二日夜來降り出した雪は凌源、平泉、承德一帶に亘つて七寸乃至一尺の積雪を見たが我軍將士は降り積る白雪を踏んで猛進を續け士氣いよいよ旺んである我が飛行〇〇隊は勇敢にも車輪を橇に代へて此の吹雪を衝いて偵察飛行を敢行した

中央と山西に 武器彈藥支給を懇請

【北平三日發國通】張學良は熱河の戰雲漸く酣となれるため、中央に對し武器彈藥支給方を懇請すると共に、山西省太原にある閻錫山の兵工廠に對し彈藥の補給方を依賴した

外人の眼に「映じた滿洲國」(十)

首都警察廳　堂脇俊盛譯

無聲の滿洲人

世人は滿洲在來の住民は獨立政府を支持して居ないものと信じて居る、明からさまに云ふならば在來の住民は概して政治に關心を有して居ない、就中彼等は平和を希望して居ながら誰かその平和を與へるものかに就いては關心がないのである國民狀態に就て人民の眞性を知る唯一の方法は事業、貿易及び政治階級の人々其の地方に於て種々の支配權を有する人々であるが一に到達する事である

長春政府の多くの人々がそう云ふ階級であると云ふ事は幾等云ても云ひ過ぎる事はないのである

彼等の多くの者は舊制度の御隊を崇つて居る、彼等の忠勤は一朝にして成就したものではない併し現在に於ては廣く或る感情が發生しつつある、其の感情は正當と繁榮へ達する最も早日の道である是等の人々は滿洲の輿論を決する人々で滿洲に反對するよりも滿洲の爲になると云つた方がずつと多いのである、之に反して實際に舊支配者が再度王位に就く事を考へて居る在來の滿洲人も居る、彼等は一致團結して居る蒙古を所有して居る、決して慘酷な武西亞の農奴下にある外蒙古の戰慄すべき例を有する處の蒙古ではなく滿洲人を自己の救世主と呼び得る樣な蒙古を云ふのである

蒙古の王達は滿洲國皇帝の就任式當日には旗王として參列したのである、その後も引續き彼等は皇帝と謁見して居る

全興安地方は蒙古政府下にあつて特別區を形成して居る、其統制者たる王は永久に春に本籍を有し旗土に對しては任意的侍者と云ふ格である、此の事實は明に實質的最大の後援者を意味するもので此の事實を無視することは滿洲より大なる土地に住む百四十萬人の意思を輕侮することである

日本に反抗する義勇匪賊團は彼等の活動が侵入者に對しての憂國的反抗、證據であると自ら思つて居る、或る地方に於ては田舍の奥深く徘徊して居る以前の兵團の背後に隱れて居、數隊が日本軍の警備薄きを見ては常に其處を襲擊するのである

滿洲に於てその重きを爲す反陸軍軍隊の最初の起りは匪賊(馬賊)から來て居る、その騷亂の災禍たる古代大汗等の時したると同樣のものがある

興安省邊境の代表來京

皇軍威力の及ばざる興安省邊境は匪賊の出沒跳梁未だ絕えず、住民は安堵し得ざるをもつて今回科爾沁右翼中旗長湯倉札布氏並に科爾沁右翼前旗長[illegible]訥青額氏を代表とする陳情團出京し、目下政府要路に後援方交渉中である

視察來滿者の感想の數々

滿鐵本社では來るべき解氷期と共になだれを打つて押寄せて來る來滿觀察團に出來得る限りの便宜を與ふるべく種々の計劃をたてて居るが、先づ昨年中の觀察團員から施設、係員の取扱、食事其他感想を聽取し不備、不便の點に改良を加へ來滿者へ滿足と好感を與へる樣に心懸けてゐるが感想錄から二、三を拔粹して見ると

一、車內にて南京虫の攻擊を受け閉口しました驅除方法を講じたいと思ひます(廣島修道中學校觀察團)方法としては新京檢車區にて取調た處最近はなく主として社外線に多く若し不良發生の場合は消毒液散布驅除に努む

一、[illegible]から[illegible]支線への連絡時刻變更を知らなかつたので迷惑した旅客が多かつた樣です斯うした場合豫め車內で通告して戴けないものでせうか(山口小學校長殿察團)方法今後車內通告を手配する

一、團体旅客を急行列車に乘車せしめないのは甚だ不便です改良の餘地はないでせうか(台灣教育會鮮滿觀察團)方法急行列車は牽引定數の關係上團体は可及的普通列車に乘車せしめ居るも事情に依つてはこの限りに非ず

一、この外食堂車內の感じ極めて良く獻立サービス共申分なし又は列車內で時々ニユースを發行するは愉快でした等があつた

討伐眞相撮影に フォックス社現地へ 全世界に公開せん

【錦州三日發國通】今回の熱河討伐で益々武勳を發揮し、縱橫に戰場を馳驅しつつある日本軍と滿洲國軍との討匪狀況をカメラに收め、併せて此の機會に熱河省の人情風俗を寫す可く米國フォックス映畫會社は撮影技師を特派し、撮影隊一行はこと二、三日中に錦州より現地に入る事となつた、フォックス社を通じて聯盟列强が公正妥當なる日本軍の行動を認識し、從來の誤謬偏見を是正するのも遠くはない事だらう

熱河省公署辦事處 承德、赤峰に開設準備

【錦州三日發國通】熱河省行政機關回復の重要使命を有する承德熱河省公署辦事處長中野琥逸氏は辦事處開設の爲め一行十六名と共に三日午前九時發列車にて北票に向つた、一行は軍隊の後を追ひ自動車で承德、赤峰の辦事處設立に向ふ筈である

熱河の實況 奉天から全滿へ放送

【錦州三日發國通】熱河大討伐の日滿軍の優秀なる活躍を奉天放送局より、全滿同胞に放送するに決し、本三日午前十時四十五分より十一時四十五分迄錦州奉天間の第一回の試驗放送を試すこととなつた成績良好なれば直ちに內地に中繼放送を開始する筈で、これに依つて雪の熱河戰場に在る我が軍將士の勇壯なる戰鬪狀況、血の出るやうな苦鬪振りが錦州のマイクロホンを通じて日本に傳へられるのだ

我飛行隊の活躍 非常に期待さる

【錦州三日發國通】一昨年來南北滿洲匪賊討伐に華々しい活動を續けて匪賊の心膽を寒からしめた皇軍飛行隊は今回日滿兩軍の熱河進軍に常に陸上部隊よりも一歩先に前進して敵狀を偵察し、兵匪討伐を有利に導き、これと共同時には部隊と部隊との聯絡に飛びまては敵の背後を襲つて敵を窮地に陷れる等思ふ存分の活動をして居る、殊に鐵道の偵察守備通信は自動車と飛行機による外なく、飛行隊の活動は非常に期待されて居る

郵政局員北票へ 第一段の熱河工作

【錦州三日發國通】熱河に於ける討伐工作の進捗に從ひ滿洲國政府は通信員の復活改善に關し諸般の準備を進めつつあるが、就中郵務に關しては出來得る限り速にこれが接收回復を期すべく、滿洲國交通部は中村奉天郵政管理監察官を錦州に駐在せしめその衝に當らしめてゐたが、討伐工作も峠を過ぎたので愈々郵務機關全部を速急に接收に着手することとなり、郵政局員九十三名は三日午前九時錦州發北票に向つた、交通部の計畫は承德、凌源、錦州、朝陽、赤峰、平泉、北票の七ケ所に無線電信事務を取扱ふ計畫で、承德占領後直ちに實現される筈である

坂根總領事赴任

【東京二日發國通】青島坂根總領事は本日午前九時東京驛發赴任した

けふの銀相場

鈔票 金票	一〇二、八〇
大洋 金票	九八、八〇
鋼幣 金票	九八、七〇
大洋 鈔票	九七、〇五

日本基督集會

日曜學校　午前九時から十時まで
朝の禮拜　十時から十一時まで
說教の題　パウロの決意　吉川牧師
夜の禮拜　青年會主催牧師應援
新賛美歌の練習あり

人事往來

▲久留島國道局礦課長　三日午前八時來京同上

客の借金まで藝妓に負はせ
歸國しやうとする千歳の女將
三萬圓で賣飛ばし

市内吉野町一丁目料亭千歳は今回金三萬圓をもつて内地にある某料亭主人に賣却されたが、右賣却に際し

『從來』仲居の手で掛勘定になつてゐたものをそのまゝ讓渡人に讓り、藝妓は藝妓で讓り藝妓の借金は店の讓り渡しさ關係なくつまり後は野さなれ山さなれさほうりつ放しにして殆ご逃げるが如く同料亭の女將井上マスは歸國を急いでゐる……即ち同料亭は從來もしばしく問題を起した家であるが、新京景氣で家のない處から同料亭の望み手が多くなり、この際三萬圓も握つて國許へ歸つて安らかな生活を送つた方がよいさ、早速三萬圓で讓渡の契約が成立、近く内地から讓受人の

『着京』を待つて現金を受け取るや否や歸らうさしてゐる、然るに同料亭は古くからの料亭で、玉助、貞奴、十郎、蝶次など古顔の藝妓達け昔からのれんさの顔馴染、仲居さの顔馴染の客のため余儀なくされた掛勘定が相當多額に上つてゐる、處がいよいよ讓渡の話が持ち上つた際、藝妓達は「スーちやんに身揚りした分は別ですが仲居さんの顔や店の顔での掛勘定はこの際きれいに清算して下さい、もさく最初からの契約は客が金を拂ふが拂ふまいが賣場の

『幾割』かを借金の分さして毎月引くさいふ約束じやないですか」さ主人に迫つたものである、然るに「いや後の方は帳場に任してある」さか「主人にがけあつてくれ」さか一向にらちがあかず、このまゝで讓渡人に渡されては從來の血さ肉を賣つた代は暗から暗へ消えてゆくことゝなり、生涯晴れて世の中へ出ることは出來ず、いつまで經つても苦界から足が引けなくなる果して主人井上マスが右借金の清算をせずに内地へ引揚げんかそうなれば彼け鬼畜生にも等しいものさなり、またこの

『事實』を新京署當局が默過せんか、當局は弱く正しきものの敵さなり、この事實に臨んで主人の行動さ警察當局の處置は一般から注目されてゐる……それにしても可弱き彼女達が肉をさいなまれた代償さして借金の殖えるに至つては彼女等さしては浮ぶ世もなからう

市民の覺醒を促し 長勇會起つ
ダンス麻雀を排撃

新京長勇會では聯盟脫退熱河の聖戰に皇軍出動の際ダンス麻雀の如きは謹愼すべきであるさなし左の如きビラを配布市民の覺悟を促してゐる

聯盟脫退第一線に於ける吾人の覺語

一、時局重大北滿の曠野に戰死者の御遺骨傷病兵今尚通過されつゝあり西に熱河の風雲亦急國際政局の危機當に到れるこの秋に當り苟も日本國民たるものは柔弱遊惰・外何ものもなき

ダンス 麻雀 の如きは當分謹愼すべきことを期す

二、時局重大の折柄目に餘るべき行爲有る者に對しては適當の方法を以て戒告することを期す

右決議す

新京長勇會

佐鄕屋、松木の兩犯人 大審院に上告

〔東京三日發國通〕東京控訴院で死刑の判決を言渡された濱口首相狙擊犯人佐鄕屋留雄、義勝の兩人は不服さして大審院に上告した

本溪湖事務所長に 增田氏が榮轉
新京の地方係長更迭さる 滿鐵社員異動發表

滿鐵新京地方事務所地方係長增田增太郎氏は此度び本溪湖地方事務所長に榮轉、四日附を以て發令されたが

『後任』は現營口地方係長山内計二氏である、增田氏は昨年四月四平街地方係長から來任して以來僅かに滿一ヶ年に滿たないがその間事變後の時局多端に際し、よく新京地方行政の衝に當り貢獻するところ多かつた、なほ今後も幾多氏の手腕に待つべきものがあつたに拘らず、突如轉任を見たのについては一般でも惜しまれてゐるが當の增田氏も

「實は寢耳に水、今ここを去るのも殘念だ、榮轉の喜びどころでなく、これが豫め相談事ですむものならばさ思つてゐる」

さ極めて浮かぬ

『顏で』多くを語らなかつたが

氏は本溪湖に過去二年間在任しお馴染みの土地である、なほ今回の異動で新京關係さしては細菌檢査所主任中川守勸業係久山卓二兩氏はいづれも鐵路總局へ轉任することになつた

執政の御日常(三)
執政府諮議 中島比多吉

滿洲國執政府中島諮議は執政日常の御生活模樣に就き執政府から内地及全國に左の如き内容をラジオで放送した

又執政閣下は本年二十八歳であらせられますが極めて御英明に渉らせられて居りますことは一たび謁見を許され親しく溫容に接した人々が均しく驚嘆する處であります、新國家の施政方針に關しましては極めて崇高なる理想さ堅固なる御決心を御持でありますのが、時間の關係上只今之を申上げる餘裕を有しませんことを遺憾さ致しまする、執政閣下が日滿兩國の關係に付きまして極めて徹底せる御考を御持ちになつて居ることに付きまして最後に一言御紹介申上度いさ思ひます、執政閣下は日滿兩國の關係に付し次の如く仰せられて居ります

日滿兩國 は利害が一致して居るが故に親善提携して行かねばならぬさいふ、併し自分は此の言葉には滿足を表することが出來ない、何故なれば利害が一致して居るが故に提携するさいふならば若し利害相反する場合は離れねばならぬ道理である、日滿兩國の關係は此の如き薄弱なものであつてはならぬ、即ち日滿兩國の關係は利害を超越して同生同死である故に如何なる場合においても利害を離れて精神的に結合し、日滿兩國が生死を共にするの覺悟がなからねばならぬ。斯くして始めて日滿兩國の徹底的融和が出來眞に兩國の共存共榮の實を擧げることが出來るのである

是は執政閣下の衷心からの御言葉であります、執政閣下は此の如き信念の下に日滿兩國の徹底的融和提携に向ひて熱烈なる御希望さ堅固なる御決心を御持ちであります。執政閣下が之の如き御考であるさ云ふことは實に我日滿兩國の

最大幸福 でありますさ同時に東亞永遠の平和のため誠に慶賀に堪えざる所であります(終り)

奧羽地方震災 續報

陸、海軍共に救助に乘出す

〔東京三日發國通〕海軍省では三陸地方の罹災者救護のため霞ケ浦飛行場から飛行機二機を、館山から一機を急派することに決し、橫須賀から驅逐艦六隻に出動を命じた、尙大湊要港部からも驅逐艦四隻を出動せしめ宮内省では三陸地方地震被害狀況を内務省よりの報告に基き 陛下に報告奏上申上げる

〔東京三日發國通〕陸軍省では今回の震災地方に、約四百廿名の滿洲派遣兵がある旨盛岡聯隊區司令官の報告に接し罹災せる將兵遺族救恤のため取敢へず救恤金より一萬圓を送金したが、尙ほ被害程度判明せば再救恤法を講じ萬全を期する事さした、尙盛岡衞戍病院より救護班を編成し、被害地に急行せしめ、第二師團第八師團に應急の處置を講ぜしめた

〔盛岡三日發國通〕盛岡衞戍司令官は罹災民救護のため、宮古町、高田町、盛町等の各地方に軍隊の出動命令を發し各隊は直ちに食料、毛布、防寒具、其他を携帶現場に急行した

東北地方の被害狀況 豫想以上に甚大

〔東京三日發國通〕内務省警保局調査によれば、本日午后一時現在における東北地方震災被害狀況は左の如くで其の被害は意外にも甚大である

▲岩手縣では死者二百五十九名、負傷者千二百四名、行方不明七十三名、家屋流失千六百五十九戶、倒壞千八百七十一戶、燒失三百戶、浸水家屋七百四十二戶

▲宮城縣では死者廿七名、負傷者十三名行方不明百廿五名、家屋流失六百七十七戶倒壞二十戶浸水千三百五十四戶、船舶流失八百一

▲青森縣では負傷者五名、行方不明三名、家屋流失十八戶

岩手縣廳の救護活躍

〔盛岡三日發國通〕零下七度の酷寒の最中濡鼠さなつた家屋の取片付けを開始した岩手縣廳では、湯本學務部長を統卒者さし、警察官の非常警戒を行ひ、十臺の自動車に分乘

八戸港の大海嘯

〔八戸三日發國通〕八戸市地方の海嘯は三日午前三時半から五時半迄約十回襲來し七時頃迄には約三十分置きに緩浸に襲來したが、海水は平均水面より十五尺高く、それがため八戸港内の發動汽船百五十隻遭難し、小船も行方不明さなつた模樣

死者合計 千五百三十五名 ―内務省公表―

〔東京四日發國通〕内務省公報三日午後十一時半現在内務省に到達した災害地被害は左の如し

岩手縣 死者千三百八十名、負傷者二百七十六名、行方不明六百九十六名、流失家屋二千四百五十三戶、倒壞家屋八百七十七戶、燒失家屋二百十一戶、浸水家屋五千四十四戶、

宮城縣 死者百三十六名、負傷者二十五名、行方不明二百二十七名、流失家屋四百四十戶、倒壞家屋一百八十三戶、浸水家屋一千二百二十九名、船舶流失一千百四十四隻

△青森縣 死者八名、負傷者三十七名、行方不明二十一名、流失家屋五十九戶、倒壞家屋十三戶、船舶流失三百七十隻、船舶破損八百三十隻

△北海道 死者十一名、行方不明四名、家屋流失十一戶、倒壞家屋十一戶、浸水家屋七十戶、船舶流失十四隻、其の他被害相當ある見込み

合計 (二千八百三十一名)

内譯
死者 千五百三十五名
負傷者 三百三十八名
行方不明 九百四十八名

合計 (一萬七百九十六戶)

内譯
家屋流失二千九百六十三戶
家屋倒壞一千二百七十九戶

中銀番人邸始め 十四軒を襲ふ
昨夜またも拳銃强盜

四日午前零時頃市内高砂町九丁目六番地中央銀行番人蘇升邸供瑞方へ四名の支那服を着した拳銃强盜團が表戶を破壞し屋内に侵入し、拳銃を突付け、人を脅迫し衣類數點を强奪逃走した、急報に接し新京署では直ちに署員の非常召集を行ひ倉田司法主任以下現場に急行取調べた處同夜午後十時頃から同一時の間に附近十四軒を荒し廻つてゐることを發見した、目下犯人搜査中

滿鐵社員會 新舊評議員會

滿鐵社員會新京聯合會では來る四日午後三時から驛貴賓室で改選した新舊評議員會を開催事務の引繼をなした記協事項を附議するはず 聯合會長推薦の件△豫算の件△各事業部長推薦の件△河端幹事の諸報告の件その他

畏き邊りの御軫念
御内帑金を御下賜

〔東京三日發國通〕畏き邊りでは三陸地方の震災を御軫念あらせられ、側近者より被害の模樣を御聽取遊ばされ、兩陛下には罹災者御救恤の御思召にて御内帑金を近く御下賜遊ばされる模樣である

して午前七時沿岸地方一帶に救援隊を派遣したが、夜が明けて見るさ、死体や破壞流失された家屋の慘狀は全く生地獄の有樣である、一方天をこがす釜石町の大火は午前六時半に到り學校通り、下通り、尾崎神社等五百戶全燒して八時半鎭火、倒壞家屋七戶、船舶流失四百卅六、破損十隻

北海道でも海嘯

〔札幌三日發國通〕本日午前二時半頃萩伏村の海岸に海嘯あり、被害は流失家屋五戶、浸水家屋三十戶、死者一名、流失船十四隻であつた

各代議士 救濟方を陳情

〔東京三日發國通〕三陸地方各代議士は齋藤總理、山本内相、後藤農相を訪問し、震災地方の救濟方を陳情したるに對し、臨時閣議開催の上至急救濟の旨回答した

スケート場納會

西公園のスケート場はいよいよ五日を以て納會さして當日は午前九時から最後を飾ることになつたが福引は午後二時頃に行はれるはず、日曜日でもあり賑はふだらう

范家屯

〔范家屯支局〕范家屯に於ける滿洲國建國一週年記念祭は盛大に擧行された、午前十一時范家屯公園に於て先づ日滿兩國旗掲揚式に初まり司會者の合圖により日滿兩國旗はひらくさ寒風に晒され兒童による君が代の合唱に次で滿洲國兒童の建國の建國祝賀唱歌を合唱日本側を代表して小松氏の祝辭、滿洲國側を代表して程商務會長の祝辭共に日滿共同提携を高唱した、高橋警察署長の發聲に日滿兩國の萬歳を三唱 國旗掲揚式を終了す此頃より集る日滿の民衆無慮七千、滿洲人の假裝、滿洲學生の音樂隊を先頭に行列の行進を開始、老も若きも皆手に五色旗を振りかざしむから滿洲國の王道政治を稱へる樣に見られた零下二〇余度の寒氣も物力は蜒々長蛇の行列は刻一刻さ參加人の數を加へ、民家の門口二八九色旗を手にせる婦女子も今日こそは晴れやかな笑顔を以て此の行列に應へた三時行列は再び公園前に歸還散開後滿鐵俱樂部の日滿祝賀宴會を開催日滿兩國民入亂れて盃の交驩をなし和氣あいの裡に五時終了す夜は俱樂部にをいて映畫滿洲國側劇場に於て建國宣傳の講演並に演劇があり、驛前榮町の十字街は電飾を以て飾られた、蓋しイルミネーションは范家屯始まつて以來のことであつた

開原の建國祝賀

〔四平街支局發〕去る一日建國週年當日開原に於ける祝賀狀況は左の通りであつた

一、滿洲側 縣城にては一般市民學童等二千名縣公署前に集合縣長指揮の下に祝賀の式典を終了旗行列の市中行進、餘興並講演等ありて終日盛況極をめ王道樂國家の建設を祝福した

一、日本側 在住官民小學生徒等約六百餘名午前九時を期して開原神社に於ける奉告祭に參列後國旗掲揚式並に君が代國歌萬歳を三唱して市中行進の旗行列に移り祝賀氣分全市中に橫溢する中に公會堂にては餘興講演活動寫眞の映寫等盛大なる催しがあつた

殉國殉職者の 莊嚴な慰靈祭
十日西公園で執行

新京時局後援會では來る三月十日の陸軍記念日當日、明治三十七、八年戰役、上海、滿洲事變などで物故した軍人、軍屬、滿鐵社員のために殉國殉職者慰靈祭を午前十時から西公園野球グラウンドにおいて莊嚴に執行することになつた

斬奸狀を懷中して 總理官邸で切腹
陸相邸でも切腹未遂

〔東京三日發國通〕午前十時三分總理官邸に壯士風の男が自動車を乘入れ、切腹した事件は、取調べの結果國粹大衆黨員藤井義雄さ判明した、右は齋藤總理の宮中に於ける失態を列擧し、自決せよさの斬奸狀を所持して居た、同斬奸狀に連署してゐた南端義政は同時刻に陸相官邸に自動車を乘着け、應接間で切腹したが全治十日程度の傷である、切腹の同機は既成政黨さ財閥が結託し、國家を亡ばさうさしてゐるさ憤慨し、荒木陸相の手によつて反省させて欲しいさいふ譯で、荒木陸相は赤誠は判るが、聯盟脫退後の非常時だから日本人同士が對立するのはよくないさ諭した

吉凶禍福

△新京露月町二丁目四〇ノ一笹沼トシ氏、三日午前零時三十五分死去

凄艶紅涙双(せいえんこうるゐじん)

鈴木彦次郎作
飛鳥久緒畫

(一二一)

だが、雄馬は、長州の人の如くひたすら、歡喜に醉えなかつた。いや、憂愁の色は、秋の氣配がただよふと共に、益々深まりゆくのであつた。

會津へ進軍の前夜、屯所で獨り膝を抱いて、考へ沈んでゐた雄馬の肩を、平岡兵部はいきよりたたいた。

「おい、雄馬、昨今、ごうしたさいふんぢや、ばかに浮かぬ顔付をしてゐるぢやないか」

「ハツハ……、」「君らさきちがつて、今後、益々雄飛にたたねばならぬおれださうて單純に醉つておられぬよ。」

「なぜだ？仇敵甲子松も打ちさつたし、山縣參謀も大いに君の戰功を認めておられるし前途は、頗る洋々たるもんぢやないか！」

「ばかツ、おれは長州人ぢやないぞ！」

「えッ？」

「雄馬は、南部の藩士だ、いま南部藩がごう動いてゐるか貴樣はしらんのか。」

「むう——」

悲痛な雄馬の一言、——醉つ拂ひの兵部も、さすが、ハッさ氣付いて、氣の毒さうに友の痩せた肩先を、ぢいつさ見詰た。

雄馬の心痛も道理。

——南部藩は、つひに、佐渡の導くままに、おそまきながら、奥羽列藩同盟にはつきり馳せ加はり、いま、西軍に加擔した佐竹、津輕兩藩さ激しく抗戰中なのである。

——女眦國之助の壯烈な最後は一時、確に、佐渡の心を動かした。

だが、歸途、仙臺に立寄り日頃、兄事せる伊達藩の家老但木土佐に逢ひ、時局について密談の結果、佐渡は、再び初一念を貫きあくまで、奥羽同盟を支持しやうさ決心した——七月十六日、平潟、不來方城内、菊の間に開かれた重臣會議の席上では、同盟加入に就いての賛否の論は、殆ご、同數であつた。

しかし、佐渡は、例によつて、刀の柄を握りしめながら斷呼さして、異論を壓服し、たうさう、一藩をひつさげて同盟軍のために蹶然さして、起つたのである。

——かくて、天風絹多年の怒力も、幾多の痛ましい犧牲を拂ひながら、つひに、空しく水泡に歸してしまつた。

——強豪、平岡ですら、結局陷落した、奥羽同盟の前途きこさは、既に火をみるよりも明かである。

——だから、雄馬は思ひ惱んでゐるのだ。

山縣參謀に屬從して、會津に轉戰中も絶えず、何さかして、藩の將來を、有利に展開しやうさ、思案をこらしてゐる——。

これこそ、雄馬には重すぎる責務だつた。

山縣山謀は、雄馬の材幹を愛しその至誠な氣持を信任しごこまでも、彼のため盡力しやうさしてゐる。

むろん、廣澤、品川をはじめ、在京中の知己も、援助を惜まぬだらう——じれど、所詮は、みな他藩の人間だ。……

——九月廿三日、劍折れ彈丸盡きた會津城は、あまたの悲壯な物語を殘りをして、つひに、開城した。

——征旅半年、いまや、奥羽の大半を平定して、勇みに勇む奇兵隊は、鼓々を先頭に隊伍堂々、故郷をさして、凱旋の途に上つた。

だが、その列に加はる雄馬の胸には、益々、秋風落莫さして吹き荒むのであつた。

(挿畫)秋風落莫

三碧 三月二日 日曜 庚午
五月十日 大安 定
日 星宿

●一白の人 施し置けば其徳自づさ我が身に戻り來る日 庚さ辛さ癸が吉
●二黒の人 氣を晴れ晴れさ持つさきは自然福徳に向ふ 戊さ亥さ子が吉
●三碧の人 利益多大にして幸運來る日萬事進みて良し 申さ壬さ癸が吉
●四綠の人 内にありて和なれば人自ら集まり來るべし 申さ壬さ癸が吉
●五黄の人 氣を平らかに持たば暗雲も次第に開き來る 甲さ辛さ壬が吉
●六白の人 悦樂度を越えず自制するが肝要福徳は備る 乙さ申さ戌が吉
●七赤の人 諸事温順なれば外邪自から遠ざかり行くべし 卯さ酉さ亥が吉
●八白の人 變化を避け順なれば自然さ地位高まるべし 乙さ辛さ丑が吉
●九紫の人 始めは滯り勝なれご終には物事進捗すべし 丁さ壬さ癸が吉

大正九年十一月四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

發行所 新京日日新聞社

熱河既に我手中に

承德を放棄して 湯玉麟北平へ遁走
途中遂に行方不明
學良軍に逮捕か

（天津發國通）承德を放棄した湯玉麟は同所から北平街道を南下遁走したが途中行方不明となつた一說では學良軍に逮捕されたともいはれてゐる

敗走兵遂に長城へ
學良軍に喰止められ砲火を開く

（北平發國通）關內に敗走する熱河軍は今朝來萬里の長城入口の古北口に殺到したが同所にある學良軍はこれを喰ひとめんとして砲火を開き混亂に陷つてゐる（以上號外再錄）

承德の東方二里半 川原部隊已に進入

（平泉四日發國通）川原挺進快速隊は本四日午前九時十五分、承德の東方二里半（十キロ）の三叉口に進入した、承德附近には敵の大兵なく承德陷落も目睫の間に迫つてゐる

米山先遣部隊 已に長城間近に迫る

（凌源四日發國通）服部々隊の米山先遣快速隊は本四日午前九時十分萬里の長城の要點嶺口の北十五キロ下打虎店を突破した、遙か彼方に長城の雄姿を認め、將士の意氣天を衝く

縱橫に馳驅
新兵器の威力を發揮

（錦州三日發國通）二十八日朝陽に到着した○○隊主力は直ちに挺進隊に配屬され二日の戰鬪に協力、其の怪物的姿を縱橫に馳驅して敗走する敵の膽を奪ひ一方飛行隊の協力と相待つて敵に多大の損害を與へ新式兵器としての威力を遺憾なく發揮した

石河右岸の支那軍 挑戰的な態度

（山海關四日發國通）山海關の前面たる石河右岸地區に集結せる敵は近來頓に緊張し、熱河の日滿軍奮戰の爲め近く何等かの行動を起すべき形勢にあり、これが爲め我軍でも相當緊張の色を見せてゐる

蔣介石自ら北上し 平津を占據の說

（北平四日發國通）蔣介石は河南新鄉に中央軍十ケ師を集結し、更に十ケ師を編入し、學良が熱河で敗れた際は自ら北上して平津に占據すると傳へらる

學良の片手落ちに
雜色軍不滿の聲

（天津四日發國通）宋子文は北平に來り學良と熱河の戰備を協議することになつたので學良は飛行機を迎へに出した 張學良は鄧、鄭桂林、馮占海を各軍長に任じ之等を正規軍に改編し軍費軍需品を供給することゝなつたので、他の雜色軍は之を不滿とし抗日氣分もダレ氣味となつた

三宅、谷 兩部隊前進

（錦州三日發國通）○○部隊に屬する三宅部隊は二日夜太嶺卜公營子東南約一里に宿營、三日早朝出發前進中である、又谷部隊は一部を殘して増援に向つた

飛行機も
今早朝勇躍出發

（錦州四日發國通）我○○隊の川原先遣部隊は今朝既に承德前面東枝子に進出す、この報を以て、これと協力し○○を突くべく我飛行隊は今朝勇躍銀翼を連ねて一擧出動した

廣東の排日文撤去

（廣東三日發國通）日本の抗議により、廣東方面の排日文句は一齊に撤去された

聯盟の對熱河態度 米の出方を見て決定

（ジュネーヴ三日發國通）日滿兩軍の熱河討伐進展はジュネーヴにも頻々として報導されてゐるが、聯盟方面では、まだこれを問題とする模樣が見られぬ然し遲くも米國の新大統領就任後其態度を見た上聯盟の措置を決することになるだらうと見られる

米國極東政策 當分は靜觀主義

（東京四日發國通）アメリカ大統領の就任式は本日となつたが、米國新政府の極東政策を外務當局は左の通り豫測してゐる

一、滿洲國には當分靜觀し時の經過を待ち事實上の承認主義に傾けばスチムソン氏の樣な抽象主義は固執しない

二、支那に關する國際條約を主張するも從來の如き援支政策の幹を除く爲着實な對支政策を採用せん

三、日米關係は日支紛爭で深入りするをなるべく避け、日支關係保持に努める

四、米露問題では米露通商開始の氣運に向はん

英國下院は一日を 日支問題に費す

英國下院は其議事において殆んど全部日支問題討論に費やした

「ランズベリー」氏は勞働黨の趣旨をくみ日本にのみ禁輸すべしと辯じ、日本は赤い思想の阻止者なるを誇張して支那を制してゐるが吾人は之に迷はされてならぬと論を進め侵略日本へ禁輸せざるべからずと結論した

外相は之に對し反駁論を陳述し、禁輸は國際協調によるより外なく、爲すも實施は至難なるを論じた上武器輸出の許可證は今後新に與へずと表明した」

右外相の演說に次ぎ「サミュエル」は日本に財政的援助をもなし得ずと述べ「チエンバレン」並「ケイス」氏も同樣の論法を保持した、要は經濟封鎖以外に實際の戰爭を防止するに院議一致した

萬福麟の軍團長に
張、湯大反對

（天津四日發國通）萬福麟は軍團長として平泉地方に四個軍を指揮せんとしたが之に學良も湯玉麟も大反對である

山海關前面の敵軍
今朝來ざわめく

（山海關四日發國通）本四日早朝來支那軍陣地は急にざわめき始め、傳令が頻繁に往き返りして居り、後方には更に有力部隊がつめかけてゐる樣子で單なる移動とは思はれない 密偵の報告に依れば熱河支那軍の一部が錦州方面に到着して日本軍が長城近くまで迫つてゐることを告げたもので急に動搖を來したと言ひ、又一說では明五日を期して、山海關奪回の本格的戰鬪を計畫して居るのだとも言ふ、いづれにせよ只ならぬ空氣漲り、我守備隊は非常なる緊張裡に前面の敵陣を警戒しつゝある

熱河の大佛寺

米國新政府の駐支公使更迭か
銀行家を採用の肚

（ワシントン三日發國通）新大統領ルーズベルト氏の側近者の觀測によると新政府は人才登庸の意味で國務省の人事に大更迭を加へんとしてゐるその一例として駐支公使としては銀行家たるジエッシースドロー氏が擬せられてゐるが 氏は近來殆んど外交問題に關係せることが無いにも拘らずルーズベルト氏が起用せんとするのは今後の對外政局が外交よりも寧ろ經濟建設に在る事を痛感してゐるからだと解せられてゐる

山西軍の出動部隊 一旅は多倫に

（北平四日發國通）山西軍の張家口進出は既報の通りなるが、既に張家口に到着せる部隊は步兵一ケ旅、騎兵一ケ旅で其の中騎兵一ケ旅は早くも多倫に向け出發した

皇軍入城後
避難民續々歸來

（赤峰三日發國通）二日以來赤峰に於て我部隊と交戰せる敵は孫殿英の率ゐる三團約三千餘と檀自勤の部下の率ゐる二團約一千餘並に劉振東の率ゐる約一千及騎兵五、六百で其の大部分は西方に約一千は東方に退却した、赤峰にあつた擲自新の主力は皇軍の赤峰進入に色を失ひ二十七日頃早くも赤峰より西方に退却した事判明した宮張海の率ゐる一旅は二十八日赤峰通過西方に退却した、城內住民は皇軍の入城を歡迎し逃亡せる者等も殆んど無く戰火を恐れて一時避難せるものも皇軍の入城を聞いて早くも續々歸城しつつあり女子供迄が出て來て我將兵を接待して居る有樣で秩序の恢復も極めて速やかなる見込みである

平津に雪崩込む 敗走兵の處分が問題
一擾亂は到底免れざるか

（山海關四日發國通）凌源、平泉方面よりの敗兵は承德を經ずして直接界嶺口、冷口、喜峰口に出で灤河に沿ひて灤州、昌黎の間に雪崩れ込む模樣で、その先頭は既に長城を越えて關內に殺倒しつゝある、右敗兵の處置に關しては過般宋子文の代理として同地方を視察せる劉崇傑と商震との協議により商震軍の手で武裝解除を爲すことになつてゐるが、これ等敗兵が將來の傲りたる武裝を安々と手放すや否や問題であり、十中の九までは如何にうまく行つても灤州から天津一帶に亘り敗兵の大掠奪は免れぬものとして同地方の人心極度に動搖してゐる

飛行隊の北上を命ず

（東京四日發國通）南京政府では既報の如く中央軍一部の北上を命じたが、南京、漢口各地の飛行隊に對しても出動準備命令を發し平漢沿線の各要所々々にガソリンの準備を命じた

漢口警備司令部が 治安維持嚴命

（漢口四日發國通）漢口警備司令部は治安維持に注意し、三月一日附で不逞の徒が諸種の名で治安を紊亂した際は死刑に處すとの布告を發した、又外國會社に勤務の支那職工が賃銀問題で紛議ある際は直接交涉を避け、主務官廳を通じて解決せざれば主犯者及其教唆者を死刑に處すと布告した

熱河各主要都市の 郵政電政を接收
滿洲國の文化を均霑さす
接收員の決死的活躍

（錦州四日發國通）熱河討伐進捗と共に滿洲國交通部は從來名義上の接收のみで、郵政管理局管下に在つた熱河省郵政、電政の實質的接收に斷乎邁進する事となつた、即ち熱河全省郵政電政は全部奉天郵政管理局管下に置く事とし、電政に關しては先般來奉天電政局員の來錦あり本部を錦州電話局に置き

△第一班　承德、灤平、豐寧

△第二班　赤峰、圍場

△第三班　朝陽、凌源、建平、北票

として三日午後一時二十五分先發隊二十二名は夫々決死の覺悟で任地に向つて出發したが電政局では先づ前記三班の任地の各有線電信を修復し、更に重要都市には適宜に無線電信を裝置し、電信網の完備をはかる筈である、郵政局でも第一期計畫として北票、朝陽、凌源、平泉、承德、隆化、建平、赤峰、綏中附近の各局を接收し、更に第二期計畫として豐寧、圍城、林西、林東、經棚の各局を接收する從來熱河の郵便は大部分人夫送りで非常な遲延を常としてゐたが、之が改革には將來自動車網の發達と共に自動車によりて錦州郵便局に速かに遞送せしめるのだと郵政局監察官以下大いに馬力をかけてゐる何れにせよ文化に遠ざかつてゐた熱河に劃期的改革が行はれて急速に文明機關の設置されるのも愈々近づいて來た。

[illegible]

廣東軍一萬五千北上
南京に通過便宜を懇請

廣東省では三月一日に出兵具體案なるものが作製されたが該案は福建、江西兩省の五ヶ團を動員北上せしむるもので合計一萬五千を算し、南京政府に軍隊通過の便宜を與へられん事を懇請して來た

茂木部隊 南下を開始

（赤峰四日發國通）赤峰攻略で一躍武名を馳せた茂木部隊は本早朝赤峰を出發、○○に向け南下を開始し、雪の山野を進擊

松田部隊 建平入城

（建平四日發國通）○○部隊の松田部隊は昨日午后九時威風堂々市民の歡迎を受けつつ建平に入城した

九勇士の遺骨
悲しい凱旋

（大連四日發國通）○○隊長と共に大凌河附近巡視中、兵匪五百餘の射擊を受け列車內より○○隊長を守つて指揮中敵彈に當り名譽の戰死を遂げた野村宏少佐以下九勇士の遺骨は、四日埠頭に於ける慰靈祭後十時出帆ウスリー丸で、市民多數の見送りを受け悲しき凱旋の途についた

通行の妨害
嚴重取締れ

（四平街支局發）市內日進街一丁目東側食料雜貨問屋源盛福方では常に人道を使用一般の交通に支障を來たしてゐたが三日午後一時頃果物籠の空箱約四斗樽大のものを他へ搬出の爲めか突如店舖內より人道を越して車道に投げ出し折

龜岡、秋田兩氏 挨拶

（四平街支局發）國路總局經理處長として榮轉の龜岡精二氏は後任の洮昂路鐵代表秋田豐作氏と共に神代庶務課長の同道で三日市內重なるを歷訪挨拶した

人事往來

▲教育總監部出脇大佐一行六名愛國旅館に投宿中の處四日正午飛行機でハルピンへ

天氣と氣象

けふの天氣 南西の風晴 昨日の氣溫 最高零下十三度五 最低零下二十一度七

新式武器を集め
壯烈無比の大演習
東京の陸軍紀念日

【東京四日發國通】陸軍では三月十日の陸軍記念日に代々木練兵場で現陸軍の有する、あらゆる新式砲器を『利用』して近代的の聯合演習を行ふ事になつたが、四日午後二時から同練兵場で豫行演習を行ふ事となつた、同演習には歩兵隊、機關銃隊、曲射砲隊、歩兵砲隊、高射機關銃、戰車隊、野砲隊、飛行隊、無線班、鳩班等で、戰鬪は先づ戰鬪機の練習、高射砲の射撃によつて火蓋は切られ、地上の戰鬪開始となり、機關銃、歩兵砲、野砲の射撃の中に歩兵が突撃し、次いで兩軍戰鬪機が上空にハラハラする壯烈なる空中戰を惹起し兩軍衝突の間迫るや工兵は煙幕の下に鐵條網爆破を決行、次いで煙火信號、無線電信、鳩の活躍裡に歩兵の突撃、砲兵の天地も碎けるばかりの砲撃開始、次いで『戰車』は煙幕の庇護下に突進して、難なく鐵條網を突破これに次いで歩兵が突撃するといふ壯烈なものである

お役人風を吹かし
女相手に醜態
國務院情報處の醉つ拂ひ
暴行して檢束さる

近ごろ一部日系滿洲國官吏の言動について兎かく世評がある矢先き四日午前零時頃滿洲國々務院情報處勤務小林啓吾は市內吉野町二丁目五番地料亭千歲へ泥醉の末登樓し、女は居らぬかと仲居に喰つてかゝり惡口を吐いた上暴行の限りを盡し同家の營業を妨害してゐるを新京署員が發見派出所に引致取調べるとこんどは係官に暴言を吐き威張り散らして手に負へぬため同署では本署に連行一時檢束の上放還された

他人の土砂を勝手に採取す
停めても聽き容れないと
窃盜の告訴を提起

新京大馬路四十九松田彌三郎氏は大連市山縣通二百十三番地福昌公司社長相生由太郎氏を相手どり窃盜の告訴狀を新京總領事館警察署に二十七日提起した、告訴內譯は原告の所有にかゝる南嶺東大河畔にある長春縣第五區恒裕鄕第實則八千百十一坪同長春縣第十區新五第五台七千三百十四坪の土砂採取場にある土砂を本年二月二十日より同廿五日迄、毎日約二輛の馬車を使用し立坪五百坪、時價千圓の土砂を窃取してゐるを告訴人松田は二十三日午後一時頃發見現場監督渡邊忠勝氏に採取場は自己の所有なるを知らしめ採取の停止を命じたが聞き容れず且暴力をもつて遮り繩を切斷し窃取を繼續してゐるため本訴に及んだものである

例年に較べ寒さはひどい
まだ當分つづかう

新京における始めての冬を迎へたものが少なからず、極寒零下二十餘度の寒さには寒さといふよりも痛さを感じさせられるが新京觀測所について聞くと

この二三日來蒙古方面から押しよせてきた低氣壓のため一入寒さが厳しいやうで昨年の三月三日は零下十度九であつたものが今年の三月三日は零下二十四度一で零下十四度以上も低いのだから身体にも應へる筈である、二月中の平均溫度も例年は零下十二度八であるが今年は零下十五度六である

內地では三月に入り暑さ寒さも彼岸頃といふが滿洲殊に南滿の北端たるこゝ新京では未だ當分寒さが續くものと思はれる

米國銀行界の不安益々增大

【ニユーヨーク三日發國通】米國の銀行界不安は益々各州に波及し、三日中に休業乃至貸出制限を實施した州は七州の增加を見た、三日午後までに米國內で銀行不安の對策として任意又は命令により休業又は預金引出し制限を實施するに至つた州の總數は三十に達した

爲替管理案委員會
修正及附帶決議で滿場一致可決

【東京三日發國通】衆議院の爲替管理案委員會は午後一時十分開會政友から中村三之丞氏附帶決議民政から長島隆二氏と希望條項を提出討論の結果政友、民政の修正及附帶決議をなし滿場一致可決し午後三時散會したが、民政黨提出の希望條項左の通り、

一、在外資產中正當ならざる外國證券外貨資產の處置に關して萬全を期すべし

一、爲替取引を日銀に集中する前も日銀をして爲替事務を嚴視し資本逃避と爲替思惑を防止すべし

一、產金を買上げ國內に保有すべし

一、保管を强制し、適用力ある地域における爲替相場に惡影響を除去すべし

一、臨時爲替管理法案の萬全を期せよ

低資融通補助に
農林省も兩肌をぬぐ
政府米も貸下げか

【東京四日發國通】三陸震災地に對し農林省では調査委員を特派し、救濟策を講ずる事となつたが、救濟の方法は今回の被害地が殆んど漁農村なるに鑑み、主として該方面の施設復興に向け調査完了次第內務省と評議の上復舊に要する低資の融通、同補助金の交附並びに漁船其の他漁具購入資金の融通をなす意向であるが、必要に應じては政府米の貸付供給に關する繰上げ等も行ひ、極力救濟に努めるとの事である

中銀總會に於ける
總裁演說要旨（二）

以上の如き經濟國難時代において善隣日本財界の同情により滿洲國は建國當初において建國公債募集に際して多大の援助を受けこれに依りて幣制の基礎を確立せしむるを得、財政の鞏固ならしめ得たることは國民と共に深く感謝するところであります

ロ…翻つて滿洲の經濟金融狀況について見るに一九三二年の貿易額は海關報告にて輸出合計三億六千三百三十余萬兩輸入合計二億八百九十余萬兩にて約一億五千五百萬兩の輸出超過を示してゐる、輸出入合計九億七千二百二十余萬兩にて前年に比し輸出において九千四百六十余萬圓兩の減少輸入において二百五十余萬兩の增加を示し輸出入總額において九千二百萬兩の減少を來たしてゐるが、これは事變關係によるものと思はれる、次に產業狀態について見るに初夏以來天候順調で作物良好を傳へられたが八月以後、降雨相つゞきしために

ロ…農作物に影響するところ少からず、殊に北滿地方においては未曾有の洪水にてその被害も非常甚大でありました、また作付時期以來引續き匪賊のため耕作困難な地方もあり、勞々農產物は多少の減收を免れない狀態であります、然しながら水害地は復興を急ぎ救濟すべきはこれ救濟し、匪賊は大体において一掃せらるゝに至りましたから今後治安維持と金融の流通とにより、漸次產業は復興致すものと確信致します、次は本行の開業後の經過について見るに

ロ…銀行法により六月十一日設立せられ、七月一日に開業し、開業と同時に四大發行銀行たる東三省官銀號、吉林永衡官銀錢號、黑龍江省官銀號及び邊業銀號の四銀號を合併し、その資產負債の全部を繼承し業務を開始したのであります、而して本行の使命として重く且つ急を要するものは幣制を統一し通貨を安定せしむることにして中央銀行としての機能を盡すと同時に一般銀行業務に從事し、且つ拓殖的金融に任ずることでありました、滿洲國三千萬民衆は舊軍閥時代における官憲の暴政搾取と

ロ…極度に紊亂せる幣制及び通貨の暴落とにより疲弊困憊その極に達してゐた故に政府當局に於ても滿洲中央銀行の開設を一日も早からしめ以て國民をこの塗炭の苦みより救はんとしたのであります（未完）

四洮鐵路滿鐵代表
更迭披露宴

【四平街支局發】這回更迭の四洮鐵路局滿鐵代表は四日午後六時料亭松屋に在住官民有志を招き披露の盛宴を張つたが、宴に入るに先ち前任龜岡氏後任秋田爾氏交々挨拶する處あつて宴に移り主客十二分に歡して散會した

公費査定協議

【四平街支局發】三日午後一時から地方事務所樓上會議室に於て地方委員會を開催本年度四平市公費査定に關し協議した

滿洲國の阿片問題（八）

醫學博士　久保田晴光

（十三）戒煙に關する政府機關の組織

政府に於ける阿片統制の機關をば戒煙局と名付け、衞生事業の一つとして之を遂行したい。全國民の保健、衞生一切に關する重要なる政務を司る衞生機關は宜しく之を獨立したる省即ち衞生部として活動せしむることを主張するものであるけれども、建國の頭初に當り衞生司は其の司る所過小に誤解されて民政部の一分司として設けられたる今日戒煙局は之を內閣直屬の一局として、或は少くとも民政部の一分司として開設し、後日機會を見て之を衞生司と合せて衞生部とし、獨立せしめんことを切望するものである。

而して戒煙局の仕事は之を二つの重要なる方針に從つて滿められなければならぬ即ち一つは國民をして新にこの惡風に染むことを極力防止することで、之は學校敎育に於て、社會敎育に於て、阿片の害毒吸食の惡風を戒め、又社會施設の改善其の他に依つて新なる癮者の發生を防ぎ、國民をして善良なる習慣を獲得せしむる樣に善導することである斯くして新に癮者の發生することを完全に防止し得たりとすれば殘る他の一つの仕事は現在の癮者の處分法である。之は急ぎるへしなければ、三十年か四十年、遲くとも五十年の年月を待てば、癮者の自滅に依つて其の目的が達せられるのであらう。けれども出來る丈速にこの不幸なる國民を救濟せんとするために、或はこの惡癖を他に轉ずる方法を講じ或は病院を建てゝ之が治療を行ふ、或は救濟院を設けて彼等の後生を救ふてやらうとするのである。

戒煙局の內部の組織は次の樣にしたい。之を五科に分ける。（一）總務科、（二）經理科（三）事業科、（四）製造科、（五）研究科、之である。而して各科に於て取り扱ふ主なる仕事の內容は大概下の通りである

（一）總務科、之を庶務、監察、敎化の三つの係に分け庶務係は戒煙局全般に關する庶務を司り、監察係は各科業務の檢閱、檢査、並に各地方に派遣せらるゝ稽査の統制に關する事務を司る、敎化係は阿片の害毒に關する宣傳敎化を行ひ、新癮者の發生防止其他一般の調査統計事項を司る。

（二）經理科、之を會計、用度の二係に分ち、豫算、決算、金錢の出納、物品の購入、保管、配給の事務を司る。

（三）事業科、之を收納、販賣の二科に分ち、原料阿片の收納、煙膏販賣其の他吸食器具に關する事務を司らしむ

（四）製造科、之を製造試驗の二に分ち、煙膏の製造、原料及び製品の品質試驗等を行はしむ。

（五）研究科、之を研究、治療の二科に分ち、癮者に關する醫學的研究、罌粟の栽培阿片製造其他阿片鑑定に關する科學的研究並に癮者の治療救濟に關する事項を司らしむ。

以上は戒煙に關する中央機關で、地方には、奉天、長春、ハルピン、吉林、チチハル等に戒煙局支局を置き、又、地方の主要小都市には必要に應じ出張所を設けて事業の圓滑遂行を期するのである。

尙、本事業に關する豫算其他幾多の關係法令、細則等に關しても別に成案を持つてゐるが茲には之を略する。

あたら儲け口を
棒に振る人々
建築せぬ二十件に滿鐵が
斷然貸下地取上げ

事變以來滿鐵新京事務所へ土地借受の申込が殺到し同土地係では出來るだけ一般の便宜を圖らうといふので『空地』は殘らず貸下げたが右貸下地の建築工事は昨年末までに基礎工事に着手し、且つ家屋の建築を見なければならないと特に嚴重に申渡されてゐたにも拘らず、中には十二月を過ぎても基礎工事に着手せず全然建築の意志なく全くブローカー根性で土地の貸借をなしその間一儲けを企てゝゐる者が尠くないとのことに同『土地』係で直ちに本人の身元その他嚴密な調査を行つた結果、このほど右事實の判明したもの二十件に對しいづれも貸付を取消した

內務省の救災案
實地調査に基き立案

【東京四日發國通】內務省は三陸地方の災害救濟對策の爲め三日午後八時半飛行機で現地被害狀況の視察を遂げ歸京した石井事務官の報告を得て警保局を中心に土木、社會、衞生各局に於て罹災民救助保護並に震災復興對策につき協議の結果、四日の閣議に內相から報告すべき實地調査報告書を警保局で左の通り決定

△地方稅減免に關する件

國稅の納稅減免に伴ひ地方稅の減免も行ふこと

△衣食住の物資供給に關する件

被害地關係の地方長官を督勵して救助金を支出せしむると同時に全國各府縣公共團体を主体に義捐金の募集を行ひ糧食衣服の供給より災民の救助法に全力を盡す事

△治安維持に關する件

死者の收容、負傷者病者の保護ま當然罹災民の救助は關係各縣の警察並で軍隊、青年團、醫療班、赤十字社等と協力して行ひ又暴利取締、流言取締等治安維持に萬遺漏なきを期する事

△復興復舊工事の件

家屋倒壞、道路、河水の災害復舊工事を急速に施行するは勿論、宮古、釜石各港灣の改築工事等に就いても災害復舊費國庫補助をなすと共に、府縣支辨に依り改築を行ふ事

△防疫に關する件

關係府縣知事の電請あり次第防疫並に防疫官吏等の增員を即時許可して被害地の防疫衞生に萬遺算なきを期すこと

震災地を調査
租稅の減免方法考究
地震火災には保險も無駄

【東京四日發國通】大藏省では東北震災地の被害狀況調査の爲め、三日夜谷口書記官を現地に急行せしめ、一週間の『豫定』で詳細なる實地調査を行はせることゝなつたが、被害狀況に關しては、刻々電報で報告を行はせると共に、其の歸京を待つて租稅の猶豫減免に就き適當なる方法を講ずる筈であるが、傳へられる處に依れば被害の程度は頗る大きい模樣であるから今議會に法律案を提出して納稅の猶豫並に地租、所得稅、營業收益稅、相續稅酒稅等減免を行はざるを得ないことになるだらうと見られてゐる。三陸地方の地震に伴ひ同地方の一部に出火を見たが、火災保險會社としては保險契約に從つてゐ其の火災が地震に直接原因すると『間接』に原因する場合とを問はず、保險契約者には氣毒だが絕對に保險金を支拂はない由である

鄭總理の御見舞電
本莊、齋藤總理に

鄭國務總理は東北地方の震災に痛く同情し、本日午前十時齋藤首相に宛て左の如き震災見舞の電報を發した

貴國東北地方大震災の報に接し驚愕す、衷心より御見舞申上ぐ

國務總理　鄭孝胥

地震と海嘯に挾まれ
釜石町、此世の生地獄

【釜石四日發國通】三日夜十時復もや大海嘯が押寄せるとの報道の爲め戰々恐々徹宵警戒す、全町五千戶中一千戶は嘯いの爲め已に形を失ひ、燈火も暗き泥水から何とも形容し難い死人の臭氣が發散し、うら若い女が泣きながら燒跡を掘り返へしてゐるのは親か夫か愛兒か傍には二三軒の倒潰家屋が片付けられず取殘されて居り、倒潰家屋は折重なつて目もあてられず、遭難者の談話によると

地震と見て町民一同は直ちに濱に出たが直ぐ海嘯が來る樣樣なく安心してゐる處へ突如大濤が盛上り、我先にと山の方に逃げのびんとしたが、多くは間に合はず斷末的救援を求む悲鳴叫喚も大海嘯に呑まれて全くの生地獄を現出した、同時に海岸地帶に火事を發し、町內一帶は電燈を消され全町暗黒となる海嘯は二三十分每四五回押寄せて來た避難民は昨朝五時頃山を降りて歸つて見れば此有樣となり今更涙も出ない慘狀である

于沖漢氏の令息令孫
聖恩に感激渡日

【大連四日發國通】故于沖漢氏令息于靜遠氏は令息于達さんを伴ひ、四日出帆のうすりー丸で內地に向つたが左の如く語る

父臨界の際は日本皇室より勳一等を下授される等御聖恩に浴しましたので其の御禮を言上したいと思つて東上致します、又靜遠は士官學校入學の爲め日本に參ります

靠山屯附近に
五十余名の騎馬賊
交戰の後二名を逮捕

【四平街支局發】二日午前九時頃鄭通線茂林驛を去る南方十余里靠山屯附近に於て田元中保護巡官の一隊が保線工事を護衞中五十余名の騎馬匪賊が襲來し、約一時間に亘つて交戰擊退したるも同附近に步哨を派して警戒中の處再び來襲し、之等と交戰の際二名を逮捕一名は新民縣大民屯生れ歐萬山（三六）でブローニング拳銃同彈丸四發を所持し、匪首天下好と氣脈を通じ各地に於て慘忍なる行動を爲したる事判明、三日午後梨樹縣長に引渡した、尚一名は目下嚴重取調中

ラジオ欄

五日（日）奉天　錦州一一、〇五　錦州よりの放送

一一、三〇（內地向）レコード
新京後五、〇〇　演藝
新京後五、二〇　講演
東京後六、〇〇　ニユース　東京中央放送局編輯
新京後六、二〇　時事解說
（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニユース
新京後七、〇〇　演藝
新京後七、三〇　音樂（朝鮮）
新京後八、〇〇　ニユース（朝鮮語）
新京後八、一五　ニユース　氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇　時報
東京後八、三一　ニユース　東京中央放送局編輯
新京後八、五〇　時事解說（朝鮮語にて）
九、一〇（朝鮮向）

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 [illegible]
同　先 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
孟買銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
日爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナゴンダ株 [illegible]

▲綿花
●米綿　現物、三月限、五月限、七月限、十月限、十二月限、一月限 [illegible]
●印綿　ペンゴール、ブローチ、オムラ [illegible]

各地市場

▲上海標金　止値、寄値、值付 [illegible]
▲上海日本向　第一回、第二回、第三回 [illegible]
▲上海倫敦向　賣値、買値 [illegible]
▲上海紐育向 [illegible]
▲大連鈔票　現物、近物、遠期 [illegible]
▲大連上海向　寄付、高値、安値、引値、出高 [illegible]
▲大連煙台向 [illegible]
▲阪神日米爲替　第一回、第二回、第三回 [illegible]
▲阪神日英爲替 [illegible]
▲大阪株式　大新株、大紡新、鐘紡 [illegible]

▲同　短　大新、東新 [illegible]
▲大連株式　鈔新、豆五品 [illegible]
▲大阪三品　當限、四月限、五月限、六月限、七月限、八月限、九月限 [illegible]
▲大阪綿花 [illegible]
▲大阪期米　當限、先限 [illegible]
▲仁川期米　當限、中限、先限 [illegible]
▲橫濱生糸　現物、當限、先限 [illegible]
▲神戶豆粕 [illegible]
▲大連特產　●大豆、●豆粕、●豆油、●高粱 [illegible]
▲哈爾賓特產　●大豆、●麥 [illegible]
▲カルカッタ麻袋　當筋、替爲 [illegible]
▲大連麻袋　現物、二月限、三月限、四月限、五月限 [illegible]

新京市況

大豆　現物 [illegible]　出來高 [illegible]
高粱　現物　不出來
小豆 [illegible]
錢鈔、鈔票、國幣、大洋票、金票、大連鈔票、哈爾濱金票、大洋鈔票 [illegible]

公學堂の女生徒が貧しき人々の救濟に美しい申出に感激

國歌合唱の謝禮金を寄附

滿洲國協和會が貧民救濟のために實施して居る同情週間は二月末日で締切つたが當地修養團□百合會や遠く大連よりの寄附を始め其他各方面よりの同情集まり協和會當事者は篤志家の好意に非常に感謝して居るが、今同また新京公學堂川田隆太訓導、王芙蓉、楊雲、曲賢芳、于効璞、四女生徒が各方面より國歌の合唱の依頼を受け、其謝禮國幣十元を同會の同情週間に寄附した、協和會側では此の美しい申出に痛く感激して居る

同情週間寄附者

國幣十元川田隆太郎外四名、金三十圓山崎富之十角、曲秉□三角、牟世□一圓、李庸同、劉乃瀚五角、楊遇春五角、李承儒同、丁硯農同、大久保巖一元、汪尚復同、閻毅先同、□□同、蕭□華五角、滕玉瑜同、武季宇同、閻福海同、李清同、原製□雄同、遠藤キミエ五角、大武滿江三角、內野春子同、戸田若苗三角、吉田靜子同、佐保トシ子同、鄒□孟二角、李品清同、張振亞同、高倉正三元、鳳書二元、許鶴年一元、作田一同、條原清同、高文煥同、王廷志同、辰己新一同、濱尾卓一同、柿崎文雄、趙國治二角、黃蕭忠三、董贈玖九□、立花實雄同、宇野□同、中居末三一圓、山倉秀敏同、荒川秀治同、李東〇同、石橋清同、大道義行同、高本廣一同、廣川英治同、朱歷霖同、王鳳岐同、黃富俊五圓、白恒興一圓（成友香一圓、張培□趾四角、張肯齡三角、張三戸、張遇昌三角、林不器男五角、梁延榴二圓、佟松壽一圓、李阿部三、五角、李鹿俊三、劉浩春五角、易大凱四角三角、胡慶紳一角、呂□角、劉秉□四角、恒啓文四角、李春芳一角、西本良雄五角、矢野榮二、五角、高慶□三角、張慶和三角、賈紹銑四角、曹廣海四角、戴常毓五角、三好喜八、齊五角、趙五角、劉道時三角、張志誠四角、金朝文三角、史熙三角、何漢三三角、姜英濤四角、曾廣雲三角、胡景顯四角、謝祝忱三角、王鑰四角、王純古一元、川口守一同、ボボーフ同、周化西五角、津々見破俊一元、雪樓□、張天鐸三角、李命勳五角、宋金動同、大野賴一同、張明五元、部留國武三元、溫楊恰銓同、岩崎義雄二元、張乃界一元、丹野保次三元、郭文泰同、符志堅、□有一元、宮本直同、劉文濤同、婁同、□式權同、趙恩璨同、□珠同、劉庭選□、徐組與甲同、徐君添同、王雪同、立五角、長與次郎同、婁承伊佐武同、動□、王松壽同、卜慶戒同、劉宋□同、王□同、趙非□同、劉封川四角、劉秉璋九元、王祝齡參元、趙永貴同、孫濟貴二元、白瀛中一元、毛廷岐同、魏國鈞同、劉□權同、柳崎竹雄二元、太田哲大五元、帆足萬州男三元、蓮尾秀同、□博々一元、徐錫銀同、閻延齡二元、坂□要三一元、方世昌一元、徐霖同、夏儒勝二元、楊珊一元、劉家琳一、韓拳五元

協和會事務局昨夜移轉完了

宿舍は三ケ所に

滿洲國協和會中央事務局は過般來奉天から新京へ移轉準備中であつたがいよいよ新事務所の方も準備全くなつたので四日午後七時五十分新京驛着列車で入京移轉を完了した、同協和會員五十名の宿舍は事務所三階の一部三宅牧場大同倶樂部の一部である

元、上田知作一元、杜慶陞七角、雨夜甚將九元、中口達二八角、岩野定布郎九角、永野廣二七、龍本修六元、王魁明四角、李珍同、楊春宜三角、眞田一年七角、永田文字生

吉林事務局

本月末開設か

協和會では三月一日から吉林に事務局を開設すべく準備中であるが建物の關係で未だ實現せず更に各方面と協議中で本月中には開設を見るべき模樣である

同情週間義捐金

竹內燕亥五元、佐藤愼一郎一元、劉負初四元、王璋同、包允榮二元、中鼎同、王國香同、□會一元、劉文科三元、吳連陞同、孫從善同、叢春同、竹內節雄同、玉徵一、二

滿洲建國一週年紀念

建國週年紀念日
即是王道光輝時
願吾國民勿忘之

懷德縣長馬春田敬祝

松花江便り（三）

吉林游擊第二支隊長　日野武雄

先づ私は驛の左にあるダラダラの坂を下つて行く。すると小さい木造の橋に出る。是れより此の地の住民の部落に入る。此の部落は戸數五十戸許りで人口二百有餘名、雜貨店五軒、藥屋一軒、床屋一軒で他の四十戸は農民家である。農民は陸稻麥黍粟大豆包米蔬菜を作り副業として養豚養鷄を營んで居る。雜貨店には日用品茶煙草食料品メリケン粉雜穀類布類を賣つて居る。日用品は殊んど新京の手を經て運ばれメリケン粉のみは哈爾賓より來る。雜穀類は本地產のものが賣買される。古來からの漢法藥を賣つてゐる藥屋には近事仁丹胃散アスピリン等が見られる樣になり重大なる役割を住民の間に演じて居る。犬も重病人は吾等の衞生班の手に因つて齎せる限り手當をして居る。土着農民は先に說べた農產物及び副業の一部を新京に出して居る。彼等は以前より軍閥封建的政治權力の元に其の富を收奪されて馬賊の橫行及び虐政年間の農產物の下落に因つて彼等の生活を十重二十重に縛り付けられ極度に苦しみを味つて來てゐた。そして現在農業に從事せる者は馬賊に落ちてゐなかつた者と云へる。大部分小作農であつて貧農である。小作料は物納が主であり金納物納の併用もあり時には勞働給付もある。大体四割から六割の小作料を收めてゐる。其處に前資本主義的の高率地代と高利貸的の商業資本の重壓があるので滿洲國が生れ軍閥が撲滅され馬賊は討伐され新國家の財政方針に因つて彼等の負擔の輕減が圖られたけれども、彼等の生活は依然として惨めなものである。

此の部落の盡る所爪先き上りの道を行くと曾ての帝政ロシアの兵舍であつた澁茶色のガッシリした建物が四棟並んで居る。此れが吾が吉林〇〇〇隊の兵舍である。日本人數百〇〇名滿洲國兵〇〇名を收容してゐる。松花江に居住する日本人は地方治安の維持及び自治の指導の任に當つてゐる滿洲國軍隊教官のみである。彼等は東洋平和の爲友朋　洲誠指導の爲皇國權益擁護の爲に炎熱極寒と戰ひ日夜一意努力を續け尊き犧牲を拂ひ匪賊の討伐を行ふここに因つて地方土着の住民及び新しき天地を見出さんと開拓に來る人々の爲に其の安全に置かしめてゐる。

野菜相場

新京市場小賣相場表　二月廿四日「菜果之部」

種別	値段	種別	値段
白菜	八	蓮莖大連物	一一
サツマ芋	四	里芋	一〇 〇八
山芋	三	赤芋内地	一五
ツクネ芋内地	一〇 〇八	牛蒡	〇五 〇四
蓮根	二〇 一五	白大根「大連」	〇八 〇六
丸大根	一六 一四	赤大根	〇六
玉葱	〇六	人參	〇三 〇三
生姜	〇八 〇九	ウド	三〇 二〇
ワサビ	二〇 一二	内地葱	一〇 〇八
玉菜	五〇 六〇	カブラ大小	一〇
馬鈴薯	〇五 〇四 〇三 〇二	水菜同	〇八
ユリ子	五〇 二五	ミツ葉大小	二〇 〇五
セリ内地	一五	ワケギ内地	〇五
春菊大連	〇三	胡瓜内地	一二 〇五
林檎	一三 一〇	内地梨	二五 一八
天津梨	一五 一二	ミカン	一五 一二
テブル一	四〇	西瓜	二〇

新刊紹介

△先生の日本と櫻ノ花、石井傳吉氏著、櫻花聯盟規則を添ふ一部金二十錢發行所東京府北多摩郡千歲村地方改良協會

△滿洲公論（二月號）聯盟の啓蒙に最後の英斷、公論余滴滿洲縱橫談輪轉機其他一部金五十錢、大連紀伊町九滿洲公論社

△物價賃銀調查月報（三六號）關東長官官房調查課

△奉天商工月報（二月號）滿洲事變後に於ける奉天經濟界其他一部金五十錢奉天商工會議所

△滿洲評論（四卷七號）世界恐慌と中國分割問題其他週刊一部十錢、大連陸路町滿洲評論社

△露滿蒙時報（二月號）北滿輸入貿易に於ける取引系統及び商習慣其他一部金五十錢哈爾賓商品陳列館

△漢詩の手引（三十一號）說話詩法、講解、作品競技等を載す會員に頒布名古屋市東區小川町眞柳寺內雅聲社

蝦夷船往来

新興映画上映及上演

（作）寺島征史　（畫）布施長春

第三十三回　春の草野（三）

『いや、おそれるのではありませぬ。いかなる理由でつけねらはれてゐるか、それを究めたい……』奥州閖釜の舟子の佐次郎、身に暗いところはないはずだが……』

『まア……その話、もうやめにしませう。……それよりか、佐次郎しやま、あんたはこのころ、海のむかうばつかり眺めてゐますねえ。津軽のしよつぱい河を渡つて、内地へ帰りたいと思つてゐるのでしよう』

『…………』

『わかつてをります。津軽のむかうの、あつたかい國には、和人の美しいふとか、あんたを待つてゐるてしよう』

『はへヽヽ。なアに、うらぶれ果てたこのわしに、なんの内地に未練があるものですかい……ことに和人の女なぞ……』

『そんな、うまいこと……和人しや、いつも猾口かうまくて、アヰヌをばかにするからねえ』

『いや、この佐次郎にかぎつて、そんなことはいはぬ。當別濱の、サンプト番屋の方々の親切に、ことにそなたのなみ〳〵ならぬ愛情を、眞實うれしくおもつてゐるくらゐです。わしは、救はれた恩義のほかに、もつとあたゝかい人間の愛情を知つてゐる……』

『佐次郎しやま、それ、ほんとう？』

チプヌキは、白軒の冷たい手を乙女らしい羞らひで、やさしく握り返した。

神かけて、僞はりは申さぬ』

『まア、うれしい。……ねえ、佐次郎しやま。いつまでも、サンプトの番屋にゐてくたしやれ。サンプト番屋にさへゐれば、何十人、何百人にねらはれても、しんぱいありません。たとひ、箱館奉行の役人か、あんたを貰ひに来ても、渡しはしません』

『……うむ、では、いまのさつきの話、このわしをつけねらつてゐるといふのは、箱館奉行の役人ばらだな……』

白軒は、下唇をかんでうめくやうに呟いた。

『繁太奴が、いやあの氣まぐれ者の藤太が、たう〳〵奉行へ訴人しやがつたのだな……江戸で大罪を犯した蘭學者松井白軒が、當別のサンプト番屋にかくまつてゐると告げやがつたな……』

或ひは、もはやこの當別の濱にも奉行の手が廻つたものかもしれない。チプヌキの口うらでそれが察しられる。もはや手おくれだが、振りかゝる危難を避けるためにはやはり策を設けなければならぬ。

『チプヌキどの』

『はい』

『若、奉行所がおもてむき、このわしを渡してくれと、サンプト番屋へかけ合つて来たら、いくらそなたの父御がこばんでも、どうにもならぬだらう』

『そんなこと……』

『いや、わしは、いさぎよく……』

『いゝえ、そのときは、當別濱のアヰヌを全部あつめて、いくさをする覚悟だと、お父しやんは申してをります』

『なに－いくさ？……そ、それはいかん。このわしをおもつて下さるのゝ、かたじけない』

アヰヌ娘の純情に、白軒ほどの冷静なこゝろの持主も動かされて、おもはず女のやさしい肩を抱きすくめた。

チプヌキは、夢みるやうな、つぶらな大きい瞳を草原へそゝぎ、清楚な小櫻の花に見入つてゐる。やゝあつて、白軒は、女の肩から手を解いた。

『しかし、チプヌキどの、折角の親切だが、わしはやはり、危険ひそかにこの濱を立退くことにいたさう。一介の舟子の身をかばふために、この平和な部落を血で汚すことは、けつして上策ではない。』

『…………』